

教育到達目標	到達目標																
	A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）				B. 資質・能力						C. 基本的診療業務						
	社会的使命と公衆衛生への寄与	利他的な態度	人間性の尊重	自らを高める姿勢	医学・医療における倫理性	医学知識と問題対応能力	診療技能と患者ケア	コミュニケーション能力	チーム医療の実践	医療の質と安全の管理	社会における医療の実践	科学的探究	生涯にわたって共に学ぶ姿勢	一般外来診療	病棟診療	初期救急対応	地域医療
学生は卒業時に次の能力を修得していること																	
1.知識																	
医学、医療、それに関連する自然科学、人文・社会科学、経済学の知識を修得して、実践に活用することができる（以下の能力を示すことによって、この能力を修得しているとする）				◎	◎	◎						◎					
a.知識を実践に活用することができる				○	○	○						○					
b.学問体系、専門領域を超えて、幅広い知識を医学、医療、社会の発展に活用することができる				○	○	○						○					
c.必要とする最新の情報を収集し、適切に選択して利用することができる				○	○	○						○					
2.診療の実践																	
基本的臨床能力を有し、患者中心のチーム医療を熟意と責任をもって安全に実践できる		◎	◎		○		◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	○
a.常に利他的な態度を示し、心理社会背景を含む患者の抱える問題を包括的に理解して支援し、患者を尊重した医療の推進ができる		○	○				○		○								
b.基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者及びその家族の声をよく聞き、良好な対人関係を築いて診療を行うことができる		○					○	○	○	○						○	
i.患者から情報収集を行い、データを解釈して頻度の高い疾患の診断を行い、診療方針を計画することができる								○									○
ii.基本的検査・治療手技を実施することができる								○						○	○	○	
iii.診療録の記載と症例提示を実施し、医療情報を適切に取り扱うことができる														○	○		
iv.インフォームドコンセントに基づく患者自らの意思決定の支援と患者教育を行うことができる			○		○				○								
c.医療チームのメンバーと互いを尊重したコミュニケーションを図り、チームの機能を高めるためにリーダー及びメンバーとしての自分の役割を果たして、安全な医療を実践できる			○						○							○	
d.医療の実践に必要な知識や技能を修得することが医師としての責務であることを理解し、実行できる						○											
3.地域社会																	
高い倫理観と社会性に基づいて、地域及び国際社会における自分の役割を認識することができる	◎				○						◎					○	◎
a.地域医療に参加し、基本的な初期診療を実施できる	○																○
b.離島・へき地を含む地域医療、先端医療、保健・福祉制度のそれぞれの機能と連携を理解し、医師の果たす役割を自覚し、行動できる	○								○		○						○
c.医療資源の適切な分配をふまえた倫理的な最善の医療の選択ができる	○									○							○
d.個人、家族、地域、文化圏、国際社会における疾患・医療・社会・人の多様性を理解し、最新の情報に基づく適切な対応ができる	○		○														○
4.研究発展																	
基礎・臨床・社会医学における研究を体験し、研究の重要性と必要性を認識する				○	◎	○						◎	○				
a.課題を発見して、論理的、批判的に考え、探求し、問題解決する自己主導型学習を行うことができる				○		○						○	○				
b.研究の計画と実施、結果の解析とまとめ、発表、倫理的対応を理解する			○	○	○	○						○	○				